

■ 4. 応募者への注意事項

■ 4-1. 申込み後から試験日までの確認事項

令和 8 年度前期 特別措置試験では受験票を使用しません。試験当日に本人確認書類（顔写真付きのもの）を必ず持参してください。本人確認書類がないと受験できません。

1. 試験会場・受験番号等の通知について

通知方法	通知日（特別措置試験）
マイページ上で通知	10月27日（火）予定

マイページ上に受験する試験会場の情報と、受験番号等が表示されます。

また、受験に関する注意事項を記載した「受験心得」がダウンロードできますので、表示された情報と「受験心得」をよくご確認ください。試験当日はマイページに表示された試験会場で受験してください。マイページに表示されている試験会場以外では受験できません。

2. 試験当日について

(1) 試験当日は、試験会場にて本人確認書類（顔写真付きのもの）による本人確認の上、試験室への入室が許可されます。本人確認書類（顔写真付きのもの）を忘れずに持参してください。（本人確認書類の詳細は「4-2. 試験当日に必要な本人確認書類」を参照してください）

(2) 試験会場での本人確認は、申込内容変更期間（申込受付期間の終了時点）までに登録されている利用者情報を基に実施します。試験当日に本人確認書類として提示された証明書等に記載の姓、名が、申込内容変更期間までに登録された利用者情報の姓、名と異なる場合、本人確認に必要な書類として使用できません。

申込内容変更期間後、結婚等により改姓し、改姓後の姓で受験されたい場合は、必ず受験前に特別措置審査・受験申込み、試験会場など試験実施に関するお問合せ先（33 ページ参照）へお問い合わせください。

試験当日、登録された姓と同じ姓が記載された本人確認書類の提示ができない場合は、受験できません。

(3) 試験室への入室時に、受験番号と試験の時間割が記載された「座席票」が配布されます。

3. 漢字表記等変更申請について

次の①～④に該当する方は、下記の申請期間内に、マイページの「PBT 漢字表記等変更申請」メニューから変更申請を受け付けます。申請時の「漢字表記等変更申請書」に記載された受験番号に対応した合格証書において、漢字表記等を修正します。

なお、申請期間以降は一切変更を受け付けませんので注意してください。

① 受験申込の際、利用者情報登録時に使用できなかった漢字が氏名に含まれており、合格証書に記載される氏名の漢字表記の変更を希望される方

② 申込内容変更期間後に氏名の漢字、氏名のカタカナ、生年月日の誤りが判明した方

③ 外国人の方で、合格証書に記載される氏名を英字表記に変更を希望される方¹⁾

④ 申込内容変更期間後に郵便番号、住所の誤りが判明し、合格証書送付先住所の変更を希望される方

注¹⁾ 外国人の方で、合格証書に記載される氏名を英字表記に変更を希望される方は、申請時に公的書類（在留カード等）の画像データが必要です。

【漢字表記等変更の申請期間】

AP、高度試験、SC：11月15日（日）12時～11月18日（水）23時59分

SG、FE：11月15日（日）12時～12月4日（金）23時59分

■ 4-2. 試験当日に必要な本人確認書類

- (1) 本人確認書類は、以下のA～Gに記載している顔写真付き証明書（提示時点で有効な原本に限る）から1点が必要となります。書類の提示ができない受験者は試験を受けることができません。

- A. パスポート
- B. 運転免許証（仮運転免許証を含む）
- C. マイナンバー個人番号カード（顔写真付き）
- D. 特定在留カード、特定特別永住者証明書、在留カード、特別永住者証明書
- E. 身体障害者手帳（顔写真付き）
- F. 社員証¹⁾
- G. 学校が発行した学生証（顔写真付き）²⁾

注¹⁾ 社員証は次の①～③の要件を満たすものに限りします。

- ①「社員証」「従業員証」「職員身分証明書」等の記載があり、企業等に所属していることが確認できること。
 - ②発行した企業等の「名称」及び「本人の氏名」の記載があること。
 - ③本人確認可能な「顔写真」が貼付されており、顔写真には割り印、エンボス、ラミネート加工のいずれかがされていること。又は、プラスチックカードに印刷されていること。
- なお、スマートフォン用アプリ等の電子機器を利用した社員証は使用できません。

注²⁾ 中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、大学院、高等専門学校、専修学校で発行されたものが有効です。学生証が学年毎に発行される場合、在籍年次以外の学生証は無効です。ただし、有効期限日が記載されている場合、有効期限日まで使用可能です。

なお、スマートフォン用アプリ等の電子機器を利用した学生証、海外の学校の学生証は使用できません。

※学年や年度の切り替わり時期や卒業時期に学生証を使用して受験する場合は、有効期限切れや返却によりお手元がないといったことが無いようご注意ください。

- (2) 上記A～G以外にも、本人確認に必要な書類として使用できる顔写真付の公的証明書等¹⁾があります。必ず受験を申し込む前に特別措置審査・受験申込み、試験会場など試験実施に関するお問合せ先（33ページ参照）へ問い合わせをし、本人確認に必要な公的証明書としての有効性を確認してください。
- 有効と確認されていない公的証明書等は、本人確認書類として使用できませんのでご注意ください。

注¹⁾ 日本国内の公的機関で発行されたものに限りします。

- (3) 小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍する方で、A～Gの本人確認に必要な書類を用意できない場合は、「学校生徒在籍証明書」と以下の証明書等との両方を持参することにより、本人確認に必要な書類とすることができます。

証明書等：学生証（顔写真なし）、生徒手帳（顔写真なし）、健康保険資格確認書から一点

「情報セキュリティマネジメント試験及び基本情報技術者試験受験用 学校生徒在籍証明書」

<https://cbt-s.com/examinee/files/examination/17642328971.pdf>

「応用情報技術者試験、高度試験及び情報処理安全確保支援士試験受験用 学校生徒在籍証明書」

<https://cbt-s.com/examinee/files/examination/17859808801.pdf>

【本人確認書類についての注意事項】

- ・試験当日、本人確認に必要な書類を提示いただけない場合は、いかなる理由でも受験できません。
- ・本人確認に必要な書類は、原本をお持ちください（コピーは認められません）。
- ・試験会場での本人確認は、申込内容変更期間（申込受付期間の終了時点）までに登録されている利用者情報を基に実施します。試験当日に本人確認書類として提示された証明書等に記載の姓、名が、申込内容変更期間までに登録された利用者情報の姓、名と異なる場合、本人確認に必要な書類として使用できません。申込内容変更期間後、結婚等により改姓し、改姓後の姓で受験されたい場合は、必ず受験前に特別措置審査・受験申込み、試験会場など試験実施に関するお問合せ先（33ページ参照）へお問い合わせください。試験当日、登録された姓と同じ姓が記載された本人確認書類の提示ができない場合は、受験できません。
- ・本人確認に必要な書類を提示されても、次の①、②のように本人確認ができなかった場合は受験できません。

- ①写真の汚れ、不鮮明又は発行から年数が経過している等によって、貼付された写真と受験者が同一人物と判断できない。
- ②氏名、有効期限等が汚れ、破れ等によって読み取れない。
- ・マスクを着用されている場合、本人確認の際に試験監督員の指示で一旦マスクを外していただくことがあります。

■ 4-3. 特別措置試験当日の注意事項

(1) 次の事項に該当する場合は、理由のいかんにかかわらず受験できません。また、採点されません。

- ① 本人確認に必要な書類（コピー不可、有効期限内のものに限る）を提示できない
- ② 申込みをした受験者本人以外の受験
- ③ 科目 A 試験又は科目 A-1 試験から受験せず（一部免除者が科目 A 試験又は科目 A-1 試験を受験しない場合を除く）、それ以降の科目だけの受験
- ④ マイページで指定された会場以外での受験
- ⑤ 申込みをした試験区分以外での受験
- ⑥ 遅刻（試験開始 30 分経過）¹⁾

注 ¹⁾ 試験開始後 30 分まで入室を認めますので、監督員などの指示に従ってください。交通機関の事故などいかなる理由でも、試験開始後 30 分を超える遅刻の場合、入室できません。

(2) 受験上の注意事項

① 試験時間中、机の上に置けるものは次のものに限ります。会場での貸出しもできません。

- (a) 本人確認書類（顔写真付きのもの）
- (b) 黒鉛筆及びシャープペンシル
- (c) 鉛筆削り
- (d) 消しゴム
- (e) 定規
- (f) 時計（時計型ウェアラブル端末は除く。アラームなど時計以外の機能は使用不可）
- (g) 電卓（使用できる試験区分は AP、高度試験、SC のみ。計算以外の機能は使用不可）¹⁾
- (h) ハンカチ (i) ポケットティッシュ
- (j) 目薬

注 ¹⁾ 音声応答のある電卓等の使用が必要な場合は「特別措置申請」が必要です。詳しくは 19 ページを参照してください。

- ② 電子機器（携帯電話（スマートフォンを含む）、ウェアラブル端末、パソコン、オーディオプレーヤ、ゲーム機、電子辞書）は、試験開始前に、アラームの設定を解除し、電源を切ってください。電子機器は、マナーモード設定や時計として使用することもできません。
- ③ 電子機器、書籍（参考書、ノートなど）、衣服などの机の上に置けないものを収納できるカバンを必ず持参してください。電子機器、書籍、衣服などは、カバンにしまった上で、足元に置いてください。SG、FE の試験では、電卓は机の上に置けませんので、カバンにしまった上で、足元に置いてください。
- ④ 試験開始及び終了は、監督員の指示に従ってください。監督員の時計が基準です。
- ⑤ 試験時間中の時間管理は、受験者本人で行ってください。
- ⑥ 退室可能時間に途中退室する場合は、手を挙げて合図をしてください。監督員が問題冊子・答案紙を回収し、指示があるまでは、席を立たないでください。試験終了後も、監督員が問題冊子・答案用紙を回収し、指示があるまでは、席を立たないでください。
- ⑦ 退室禁止時間は、次のとおりです。
 - ・ SG の科目 A・B 試験、FE 及び AP の科目 A の試験：試験開始から 60 分間及び試験終了前 10 分間
 - ・ 高度試験及び SC の科目 A-1、A-2 の試験 ：試験開始から終了まで

- ・ FE、AP 及び SC の科目 B の試験 : 試験開始から 40 分間及び試験終了前 10 分間
- ・ 高度試験の科目 B-1、B-2 の試験 : 試験開始から 40 分間及び試験終了前 10 分間

⑧ 答案は、いかなる場合も提出してください。

⑨ 問題冊子は全て回収します。持ち帰りできません。

⑩ 試験時間中は、問題冊子の表紙及び裏表紙の注意事項、並びに答案用紙の注意事項に従ってください。

(3) 次の事項に該当する者の答案は、採点されません。受験済みの試験は無効になります。残る科目の受験もできません。

- ① 監督員など係員の指示に従わない者 ¹⁾
- ② 不正行為をした者 ¹⁾
 - ・ カンニング、替え玉受験をした者
 - ・ 電子機器（携帯電話（スマートフォンを含む）、ウェアラブル端末、パソコン、オーディオプレーヤー、ゲーム機、電子辞書）、書籍（参考書、ノートなど）をカバンにしまっていない者
 - ・ SG、FE の試験で電卓をカバンにしまっていない者
 - ・ 監督員の試験開始指示前に、問題冊子を開いた者
 - ・ 監督員の試験終了指示後に、答案用紙に記入した者
- ③ 途中退室時又は試験終了後、監督員が問題冊子・答案用紙を回収し、指示する前に退室した者
- ④ 退室禁止時間内に退室した者
- ⑤ 答案回収時に、答案を提出しない者
- ⑥ 問題冊子を持ち帰った者

注 ¹⁾ ①、②の場合、直ちに退室を命じます。

(4) その他の注意事項

① 試験室への入室

(a) 本人確認書類（顔写真付きのもの）による本人確認後に、入室が可能です。入室後は監督員の指示に従って着席してください。

(b) **注意事項の説明などを試験開始 15 分前から行いますので、試験開始 20 分前までに必ず試験室に入室し着席できるように、時間には余裕を持って試験会場にお越しください。**

また、試験室の外に出られた場合は、再入室の際に試験監督員による本人確認書類の確認を行います。確認にお時間がかかる場合がございますので、ご注意ください。

(c) 基本情報技術者試験の科目 A 試験免除者、高度試験・支援士試験の科目 A-1 試験免除者、支援士試験の科目 A-2 試験免除者は、免除となる科目（科目 A 試験、科目 A-1 試験又は科目 A-2 試験）の試験終了後、問題冊子・答案回収が完了してから、試験室に入室できます。

② 試験時間中の飲食は禁止です。ただし、服薬などやむを得ない場合は、監督員の許可を得てください。

③ 試験時間中の耳栓の使用は禁止です。

④ 試験室内は禁煙です。指定された場所以外では、喫煙できません。なお、全面禁煙の会場があります。

⑤ 試験時間中にトイレへ行きたくなったり、気分が悪くなったりした場合、その他、試験中に用事のある場合や試験中に受験の妨げになる事象がある場合は、手を挙げて監督員に合図してください。

⑥ 試験問題の内容に関する質問には、お答えできません。

⑦ 座席票は、メモとして使用できません。

⑧ 当日の忘れ物については、情報処理推進機構ホームページの問合せフォームより、お問合せください。

【情報処理推進機構ホームページ問合せフォーム】

https://www.ipa.go.jp/shiken/jitecinquiry_faq.html#form

試験終了後、1 週間以内に連絡がないものについては、処分します。

■ 4-4. 試験実施に関する情報

- (1) 地震、台風等の災害による試験中止、試験会場の変更など、受験者への通知事項がある場合は、マイページで行います。試験前には、必ずマイページで情報を確認してください。
- (2) 試験実施に関する試験当日のお問合せは、お問合せ先（33 ページ参照）までお問合せください。

■ 4-5. その他

- (1) 試験会場までは、交通機関の事故、交通混雑、乗り継ぎなどで予想以上に時間が掛かることがあります。交通機関の不通や遅延等が発生することに備え、ご自身で試験会場までの経路や方法を複数調べておくとともに、時間に十分な余裕をもって試験会場に到着できるようにしてください。
- (2) マイページに試験会場の住所が記載されていますので、事前に市販の地図などによって、会場までの道順や所要時間などを十分確認しておいてください。
- (3) 試験当日、受験者が出したゴミ（弁当、飲み物など）は、必ず各自が持ち帰ってください。試験会場に捨てることはできません。
- (4) 試験会場によっては、冷暖房が入らない場合があります。
- (5) IPA は、試験会場やその周辺において、料金を徴収するようなことは行いません。
- (6) 貴重品は必ず身に付けておいてください。試験会場における盗難、紛失について、一切の責任を負いません。